

# 反転授業を实践

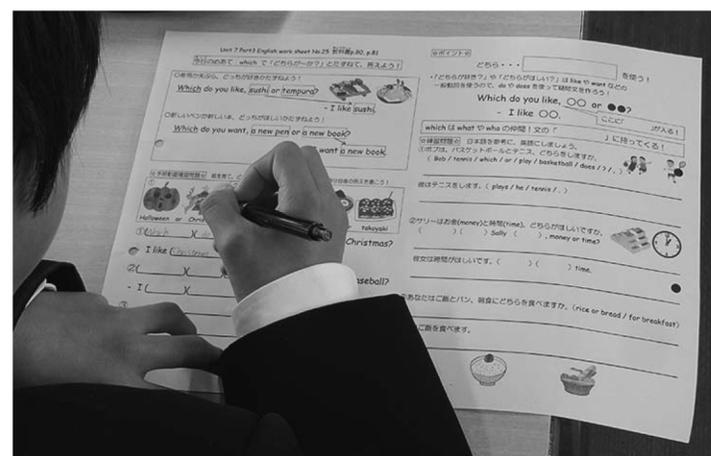
教員が教え込む講義型の授業から、生徒が気付き、自ら学ぼうとする意欲を高める支援型の授業への転換——。兵庫県篠山市立丹南中学校（田端俊興校長、生徒325人）は、（公財）パナソニック教育財団の特別研究指定校に選ばれた平成28年から、反転授業の実践に取り組んでいる。全学年の全教科で、教員がオリジナルの予習動画を自作し、生徒は事前に予習動画を見て、学習イメージを持って授業に臨む。作成した動画数は、この1年半で実に100本以上。11月16日には同校で研究発表会が開かれ、動画作成のワークショップや公開授業などが行われた。

■予習動画作成のコツ で作成する。予習動画はiPadなどを使い「Apple Explain Everything」と「PowerPoint」の組み合わせで制作する。教員自らの音声を録音して動画に組み込む場合は「PowerPoint」の「録音」機能を使う。また、「Google for Education」の「Docs」機能で「Explain Everything」の動画を共有できる。

を、音声無しで細かく作り込む場合は「PowerPoint」の「録音」機能を使う。

を使い、生徒らが同校のホームページからログインして閲覧できるようにアーカイブされている。自宅からアクセスできない生徒にはDVDを渡すなど、全員が予習できるように工夫している。また、動画は予習だけでなく、授業中のプレゼン資料、復習、特別支援学級や不登校、日本語を母語にしない生徒の学習

「▽長さは1分半から2分ほど。予習として2〜3本を見られるくらい▽あえて、説明が不十分な部分を作っておく。『ここを知りたい』と生徒に学習目標を持たせ、主体的な学びに結び付ける」と説明。



内容を理解できているかチェックする予習動画の確認問題

## 予習動画を教員が自作 授業デザインにも変化

にも活用しているという。

研究発表会では実際に作成した動画と、その具体的な作成方法が、出席者らに披露された。

これまでに100本以上を作り、さらに現在も作成しているだけあって、当初は手間取った動画作成も、今では1本10〜15分で作れるほど習熟してきているという。

プロジェクト開始から中心となって推進してきた木村匡宏教諭は「予習動画作成の『コツ』を、予習動画の作り方を説明したワークショップ

にも活用しているという。

研究発表会では実際に作成した動画と、その具体的な作成方法が、出席者らに披露された。

これまでに100本以上を作り、さらに現在も作成しているだけあって、当初は手間取った動画作成も、今では1本10〜15分で作れるほど習熟してきているという。

プロジェクト開始から中心となって推進してきた木村匡宏教諭は「予習動画作成の『コツ』を、予習動画の作り方を説明したワークショップ

にも活用しているという。

研究発表会では実際に作成した動画と、その具体的な作成方法が、出席者らに披露された。

同校の取り組みの指導に当たった、パナソニック教育財団特別研究指定校アドバイザーの寺嶋浩介大阪教育大学准教授は、反転授業はアクティブラーニングの手法の1つだとして、「生徒は学習時間が増え、教師は指導を減らせる。そして知識の定着に時間を割け、対話的な学習など、生徒の活動場面を取り入れやすくなる。生徒が発表する機会が多くなり、教員とのやり取りや質問が増える」と効果を挙げている。

◇◇◇ 変わる授業デザイン

授業の進め方も大きく変わった。

予習動画導入後の授業は、例えば、本時の目的の確認↓各自で予習動画の確認問題を解き、内容を理解できているかチェック↓ペアやグループで教え合い、予習の成果を披露↓一斉授業形式で、教員が指導し、不確かな知識を修正、整理し、まとめ直す↓生徒の発表↓まとめの練習問題↓振り返り↓自宅などで個々に復習——という進め方になった。

授業が効果的になった

生徒からは「次の授業の内容

予習動画について、生

教員の授業力も向上

したい」と展望を語った。

予習動画について、生徒からは「次の授業の内容

予習動画について、生

ので、演習問題で再確認し、定着を図る時間もたっぷり取れるようになった。

その成果として、1学期末と2学期中間テストを比較すると、内容が違っているので単純比較はできないものの、数学では平均点が47点〜60点となり、得点分布も高得点のほうに集まった。

そして理科でも、30〜40点台だった生徒25人が15点以上アップするなど、学力下位層と中位層の生徒に著しい伸びが見られた。

予習動画について、生徒からは「次の授業の内容

予習動画について、生

教員の授業力も向上

したい」と展望を語った。

予習動画について、生

教員の授業力も向上

予習動画について、生

容が分かっているから、授業が分かりやすくなった」「予習で分からなかったところを、集中して聞けた」「先生に一方的に教わるのは、つまらないと思うようになってきた。自分で予習して、分かること、分からないことを区別してから授業を聞いたほうが面白いし、内容もよく分かる」「授業が楽しみなった」という感想が出てきているという。

公開授業でも、互いに教え合い、いきいきと発表する生徒らの姿が印象的だった。

◇◇◇ 教員の授業力も向上

予習動画について、生

教員の授業力も向上

したい」と展望を語った。

予習動画について、生

教員の授業力も向上

予習動画について、生

教員の授業力も向上

